

恨みわびほさぬ
袖だにある

ものを恋にくちなむ
名こそ

惜しけれ

中一五五

つれない人を恨み嘆いて、涙にぬれて乾くひまもなく
袖が朽ちてしまいそうなのに、この恋のために浮き名が
立って私の名が朽ちてしまうのも残念でなりません。
(百人一首六五番 相模)